国土交通省主催
事故防止に関するセミナー　資料

令和8年2月3日

「まぁいいか」を見逃すな！
～健康診断＋αで自身と向き合う～

Shing Unso

株式会社 新宮運送　会社概要

本社営業所　兵庫県たつの市新宮町

- 姫路営業所　姫路市網干区
- たつの第1物流センター　たつの市揖西町
- たつの第2物流センター　たつの市揖西町
- 世直し事業部　たつの市新宮町

本社営業所

- 創業　昭和37年11月
- 代表取締役　木南晋一
- 社員数　93名
- 車両台数　94台（非けん引車含む）

姫路営業所

- 一般貨物自動車運送事業
- 倉庫業
- 環境関連事業（世直しﾘｻｲｸﾙｼｽﾃﾑ・ｵﾌｨｽﾍﾟｰﾊﾟｰ回収業務）
- クリクラ販売代理店(宅配水FC)

Shing Unso

Shing Group

新和自動車
SHINWA JIDOUSHA

自動車整備業・レンタカー事業

株式会社　兵庫物流

物流2次加工・出荷業務・倉庫業

常磐運輸株式会社

道路貨物運送業（地場配送中心）

こんな会社になろう

（経営理念）

一、質を高めることを考える会社。

質を高めるとは、サービスの質、価格の質、仕事の中身を
より高い次元にすること。
社員の質ももとより、利益体質も当然である。

一、心のこもった仕事をする会社。

ほんの少しの心遣い、ホッとできる対応。
笑顔の応対。真心のある仕事につとめよう。

一、お客様に提案の出来る会社。

今の仕事を改善し、良くしていけることを提案しよう。
単に価格だけの競争はつぶし合いの結果しか招かない。
なぜ？ＷＨＹ？を考えて仕事を進める。

Shing Unso

安全に関する取り組み

ＣＳミーティング

顧客満足会議　Customer Satisfaction Meeting

平成４年４月から毎月一回開催しています。

安全は当たり前のレベルとなり、
顧客満足が次の課題。

コロナ禍以降、eラーニングとして社内YouTube配信も活用。
「リアル」と「デジタル」を組み合わせています。

S－DEC運動 平成5年1月より実施

Safety pro-Driver's Endless Challenge

安全運行をするプロドライバーの限りなき挑戦！
プライベートも含む無事故無違反、業務中トラブルゼロ継続運動

歴代4000日達成者は

令和8年1月現在 **56名** (グループ社員達成者・退職者等を含む)

Shing Unso

>>> 安全　＋　健康？？

これまでの健康診断

「これまで」の健康診断（コロナ禍以前を指す）

乗務員、夜間点呼者は、年2回。
会社にて検診車等による実施（5月・11月）
（事務所、運行管理者等は年1回の受診）
（理由：深夜運行（22時～5時）も可能性としてある為）

結果を基に、産業医による医師の所見を受けた上で、就業可否を判断していました。

Shing Unso

これまでの健康診断と
運輸ヘルスケアナビシステム導入の経緯

ある日突然起こるかもしれない健康起因による事故を未然に防ぐ為、健康管理の重要性を周知し、取り組むために
令和5年2月に『ひょうご健康企業宣言』をしました。

証

第111号

株式会社 新宮運送 殿

（兵庫県運輸業健康保険組合）

「ひょうご健康企業宣言事業所」

であることを証します

令和5年2月14日

健康保険組合連合会兵庫連合会

会長 合六 修

事業主が事業所全体で健康づくりに取り組むことを宣言。
直接従業員に働きかけをすることで健康に関する意識を高めていく取り組み。

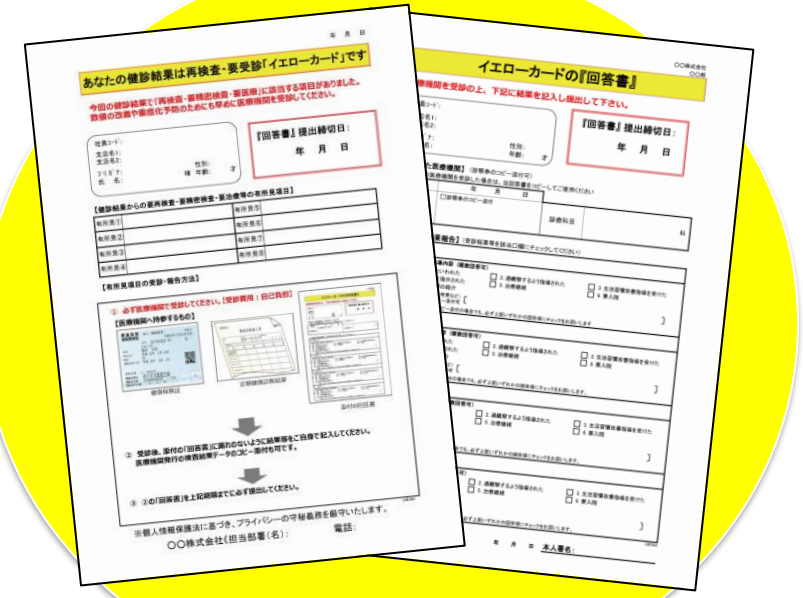
これまでの健康診断と
運輸ヘルスケアナビシステム®導入の目的

健康診断の結果だけで良いのか？という疑問が出てきたことをきっかけに、
定期健康診断の結果活用を模索しました。
その際に全日本トラック協会の
『運輸ヘルスケアナビシステム（OCHIS）®』を利用し、健康状態を正しく
把握することができることを知った。

そのデータから、再検査・診察指示をする。（結果の報告も受ける）
『死の四重奏・三重奏』(レッドカード)に該当する方には、
『労災二次健康診断』を受診してもらう。

Shing Unso

イエローカード・レッドカードとは？



イエローカード

レッドカード

再検査・精密検査・要治療の結果が出た方に配布します。

大きな４つの対象項目（肥満度・血圧・脂質・血糖）の中で、全てに基準値を超えているものがある人。または、４項目の内３項目に収まっている人でも、特に数値に問題があると判定された方に、レッドカード配布します。

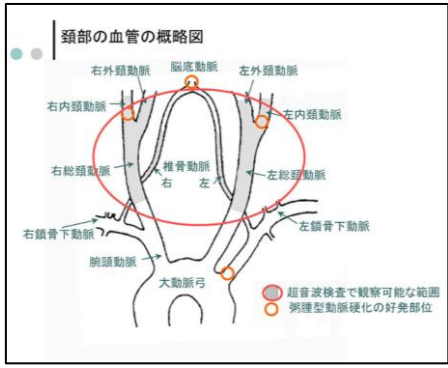
今後の課題（反省すべき点）

実施した二次健診の問題点

『リスクの見える化』『頸動脈の動脈硬化の具合や心臓の動きなどを視覚的にとらえることができる』

→　無言の診察に専門用語のみで解説された診断結果とテンプレートが貼付けされただけの健康指導！

手間と時間をかけた割には不完全な結果となってしまった



→　OCHISの担当者を通し、健診機関へ不満と要望を伝える。

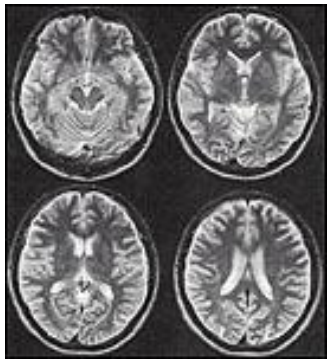
次回からは、わかりやすい用語、治療が必要な場合は危機感を抱いてもらうよう解説していただくようお願いした。

Shing Unso

並行した社内としての取組み

脳MRI/MRAの実施

3年ごとに受診をサイクルとして実施。（全員対象・新入社員は適宜追加）
産業医委託先病院とも連携しながら、
業務に支障をきたすことの無いようにスケジューリングして受診しました。



MRI画像

MRA画像

並行した社内としての取組み②

インフルエンザ予防接種費用の本人負担なしを実現

（扶養家族は、健康保険組合にて半額対応）

冬の健康診断時に同時接種も調整を依頼しました。
結果、17名が接種しました。
かかりつけ医での接種も認めている。
例年に比べると接種人数は全体的に増えています。

Shing Unso

運輸ヘルスケアナビシステム®から始まったSASへの取組み

SAS（睡眠時無呼吸症候群）への取組み

SASスクリーニング検査実施について

SASとは、睡眠時無呼吸症候群のことで、睡眠中に無呼吸状態が繰り返される病気です。運転中や作業中に注意散漫になったり居眠りをしたりすることによる交通事故や労働災害につながるケースもあります。

令和6年度より3年ごとのSASスクリーニング検査を開始。

入社年度を基に3グループに分けて実施を計画。

【検診結果が出た後のフォロー】

『要精密検査』と判定された場合、9割がSAS確定診断となる可能性があり、何らかの治療が必要となります。自己負担となりますが、精密検査と治療をするよう指導します。

未治療だと、運転手として仕事を継続できない可能性もあります。

Shing Unso

SAS（睡眠時無呼吸症候群）への取組み

運輸ヘルスケアナビシステム®との連携

イエローカード等とは異なるものの、SASのデータも連携することで社員それぞれの状況を統合的に把握できるようにする。

1年目　受診者　30名

　要精密検査　12名

内科以外に耳鼻科にかかったり、と悪戦苦闘することも

まずまず順調！と思ってスタートしたものの・・・

Shing Unso

2年目の課題

2年目（令和7年度）の再検査対象者が急増！！

受診者　35名

要精密検査　24名

なぜかというと・・・

検査機関（OCHIS）の判定基準変更という事態に！

課題の解決へ

急増した再検査の問題点解消へ

①受診先の提案

SAS検査を対応できることを確認して
産業医依頼先病院や地元内科医への受診紹介
（あっせんではなく、かかりつけ医で対応できる医院も許可）

②精密検査への補助の実施

受診率向上のために、会社補助として最大10,000円を助成。
（10,000円以下の場合は実費負担額）

対応策も効果を発揮し、100%の精密検査受診を達成！

Shing Unso

受診したことで・・・

<u>SASと診断された社員には・・・</u>

C-PAPによる治療やマウスピースの
作成を提案される方もいた。

結果によっては、経過観察となる者もいた。

治療中の者からは、「最初は違和感あったが、よく
寝られるようになった」との声もある。

Shing Unso

社内における健康取組みのまとめ

定期健康診断　年2回 運輸ヘルスケアナビ®連動

脳MRI・MRA 3年に1回（基本） 会社負担にて

SAS簡易検査 3年に1回 （基本）
　会社負担にて（兵庫県トラック協会での助成制度あり）
　精密検査　（10,000円を上限に会社より助成）

インフルエンザ予防接種
　本人負担なし（兵庫県運輸業健康保険組合＋会社助成）

健康管理で経営も不安解消

2024年問題を契機に、乗務員の働く環境は変化のキーポイントを迎えています。

「これまで大丈夫」なので「これからも大丈夫」とは限りません。

会社の「これからも大丈夫」を作るために、社員の健康維持は必要であると考えます。

Shing Unso

ご清聴ありがとうございます